

言葉で感じる日本文化

年度末が近づき、卒業や入学、転勤や引っ越しなど、環境が変わる季節になってきました。今月の Living in Miyazaki では、日常生活でよく耳にする日本語のフレーズについて、それぞれの持つ独特な意味合いや背景について書いてみたいと思います。



1. 「お疲れ様です」：労をねぎらう言葉／挨拶

本来は仕事や活動を終えた人に対して労（ねぎら）いの気持ちを表す言葉ですが、職場などでは、軽い会釈と一緒に時間に関係なく、挨拶代わりに使われることも多いです。日本人が挨拶代わりにこの言葉を発する背景には、「和」の精神や「調和」を重んじる文化が反映されていると言えるでしょう。

2. 「よろしくお願いします」：様々な場面で使える万能フレーズ

基本的には何かをお願いする時に使う言葉ですが、それ以外にも対話や活動、あるいは関係を始める時などにも使います。柔らかく控えめなニュアンスを含み、話や関係をスムーズに進める効果があり、とても便利な言葉です。職場や引っ越し先などで自己紹介をする機会があれば、ぜひ使ってみてください。



3. 「お世話になります」：感謝と謙虚さを表すフレーズ

これから受けるであろうサポートや協力に対してあらかじめ感謝を示す言葉です。たとえば、引っ越し先の近所の人や新しい職場で挨拶するときなど、このフレーズを使います。この言葉には、「あなたに頼ることになりますが、どうぞよろしくお願いします」という意味が含まれており、謙虚さと感謝の気持ちが絶妙に融合しています。

言葉に込められた意味や背景を知ることは、その国の文化を理解する手助けになります。これからの季節、これらのフレーズを耳にする機会も多いかと思しますので、ぜひどんな風に使われているのかを観察してみて、その背景にある日本文化も一緒に感じてみてはいかがでしょうか。

●宮崎県内の日本語教育の情報サイト「ひなたにほんごナビ」●

<https://hinatanihongo.mif.or.jp/>

※日本語訳は後日、(公財)宮崎県国際交流協会のホームページに掲載されます。

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：(公財)宮崎県国際交流協会まで

TEL：0985-32-8457 FAX：0985-32-8512 Email miyainfo@mif.or.jp

毎日の生活に関してご質問、ご心配事などありましたら：みやざき外国人サポートセンターまで
TEL：0985-41-5901 FAX：0985-41-5902 Email support@mif.or.jp